

# 「教育課程特例校」の実施について(令和3年度の取組)

南城市立久高小学校

## 1 「教育課程特例校」申請の経緯

本市は、平成19年度から文部科学省より「研究開発校」の指定を受けて小中連携による9年間の統一した英語教育を実施してきた。

さらに、平成23年度からの3年間は、研究開発校の指導内容や指導体制を継承・発展させていくことを目的として、文部科学省より「教育課程特例校」の指定を受け、小中一貫した音声及び活動重視の英語教育の実践に努めてきた。

その後も「教育課程特例校」事業を継続し、平成29年度からの3年間も引き続きこの事業を継続し、外国語教育の充実に努めている。

## 2 特別の教育課程の内容

### (1) 必要となる教育課程の基準の特例

#### ①新設教科、対象学年、実施時数

ア：小学校第1・2学年に新設教科「外国語活動」を置く。

- ・小学校第1～2学年は、生活科、音楽、図画工作、体育から計15時間縮減し、「外国語活動」にあてる。 ※モジュール型を推奨

イ：他教科・領域からの充当時数表

|         | 生活科 | 音楽 | 図工 | 体育 |
|---------|-----|----|----|----|
| 小学校第1学年 | －3  | －4 | －4 | －4 |
| 小学校第2学年 | －3  | －4 | －4 | －4 |

### (2) 取組の期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日の3年間

## 3 委員会及び学校の取組

### (1) 外国語担当教諭連絡会の実施

### (2) 小中学校の連携授業の実施

### (3) 指導主事招聘研究授業の実施

### (4) 国際交流事業の実施

○基地内小中学校との交流、異文化交流授業等

### (5) 自己評価及び学校評価の実施・公開 ※令和元年度より

○児童・教職員・保護者へのアンケート実施と分析 ※HPで公開

### (6) その他

○英語ブロンズテスト(小4) ※10月実施

#### 4 今年度の実践紹介



【幼小合同のハロウィン会】



【クリスマス会】



【1・2年授業 単語練習の様子】

コミュニケーション能力の素地を育成するため、英語活動と外国語活動においてはゲームを中心とした「楽しく話す英語」に取り組んでいる。

小学生全員が「外国語活動」について、「とても楽しい」、「楽しい」と答えており、特に新しい単語に親しむための「キーワードゲーム」や「カードゲーム」などが楽しいとの回答が多かった。また、リズムにのって発音練習を楽しんでいる様子もあった。低学年は年間で15時間程度の授業時間だが、朝の会での健康観察や、日付確認で挨拶を習慣化することに取り組んだ。

保護者は、低学年の時期から外国語に触れることにとても好感を持っている。(アあてはまる100%) また、『「今日は英語で何曜日〜?」と家庭でも英語で親しんでいる。』との回答もあった。

今後も、ALTを活用しながら、子どもたちが外国語活動に親しんでいけるよう計画していきたい。